

芦屋市住宅マスタープラン策定準備

「芦屋市すまいのアンケート調査」

報 告 書



Ashiya City

平成 29 年

芦屋市

目次

I.調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 配布数及び回収結果	1
3. 調査項目について	1
4. アンケート回答数の留意点について	1
5. 前回アンケートとの比較について	2
6. アンケート（クロス集計）について	2
II.市民アンケート調査（単純集計）	3
あなた住まいについて	3
住まいとまわりの環境の評価について	9
住宅マスタープランでの取り組みの満足度について	12
今後の住まい方や環境について	13
あなたご自身について	20
III.前アンケート調査との比較	23
<資料>	
IV.その他（クロス集計）	28
V.アンケート調査票	35

I. 調査の概要

1. 調査の目的

平成 20 年 3 月に「芦屋市住宅マスタープラン」を策定し、平成 30 年 3 月末に終了することから、新たな住宅マスタープランを策定するうえで、市民の視点から見た、住まいにおける意見や要望を把握し、その結果を住宅マスタープラン策定の基礎資料とすることを目的とする。

2. 配布数及び回収結果

- ▶ 対象者：平成 28 年 4 月 1 日現在で市内在住する 20 歳以上の男女
- ▶ 実施期間：平成 29 年 2 月 16 日～3 月 6 日
- ▶ 調査方法：郵便配布、郵便回収 ※平成 29 年 2 月 27 日督促ハガキ 3,000 通を郵送
- ▶ 抽出法：住民基本台帳から、年代等間隔無作為抽出※職員を除く
- ▶ 配布数：3,000 件
- ▶ 回収数：1,486 件（回収率：49.5%）

3. 調査項目について

【項目及び設問】 A4 サイズ 10 頁 31 問（付問含む 36 問）

- ①あなたの住まいについて（11 問）
- ②住まいとまわりの環境の評価について（3 問）
- ③住宅マスタープランでの取り組みの満足度について（1 問）
- ④今後の住まい方や環境について（9 問）
- ⑤自身のことについて（7 問）

4. アンケート回答数の留意点について

- ・アンケートの回答者の割合が、60 歳以上（46.2%）、40～59 歳（36.3%）、20～39 歳（16.2%）で 60 歳以上の方の意向が強く反映されていることに留意する必要があります。
- ・N は、各設問の不明を含む回答数を示す。
- ・n は、各設問の選択肢の回答数を示す。
- ・各選択肢の構成比率は（%）は小数点以下第 2 位で四捨五入しています。
- ・選択肢から複数を選ぶ複数回答の比率は、各項目の回答数の和が母数の有効回答数より多くなることから、合計が 100%を超えます。

5. 前回アンケート結果との比較について

平成 19 年 9 月に実施した「芦屋市すまいのアンケート調査」と今回のアンケート調査は、内容を一部踏襲し実施しました。前回アンケート調査項目と同様のものを比較し、傾向を把握する。

【比較項目】

アンケート項目	
■ 居住の理由【問 3】	■ 住まいの安全・安心施策【問 19】
■ 住まいの所有関係【問 4】	■ 高齢期の住まいの施策【問 20】
■ 住まいの広さ【問 7】	■ 子育て支援施策【問 21】
■ 建設時期【問 8】	■ マンション建設に対する意見【問 22】
■ 定住の意向、転居先の都市【問 16】	

6. アンケート（クロス集計）について

回答内容への影響が想定される属性について、属性別の分析（クロス集計）を行うために以下の内容で把握する。

【クロス集計項目】

表側	表頭
■ 住宅の種類別【問 4】	<p><満足度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の住まいについて【問 13】 ・周辺の環境について【問 14】 ・住宅マスタープランにおける取り組みについて【問 15】
■ 年齢別（3 区分）【問 26】 （20～39 歳、40～59 歳、60 歳以上）	<p><住まいとまわりの環境の評価></p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在住んでいる地域について【問 12】 ・住まいに関する今後の意向【問 16】 ・芦屋市の良さについて【問 17】
■ 地域別（6 地区）【問 27】	<ul style="list-style-type: none"> ・芦屋市で不足していることについて【問 18】 ・住まいの安心・安全について【問 19】 ・高齢者の暮らし方に対応した住宅づくりについて【問 20】 ・子育てをするうえで住宅や環境について【問 21】 ・マンションの増加について【問 22】 ・空き家の活用について【問 24】

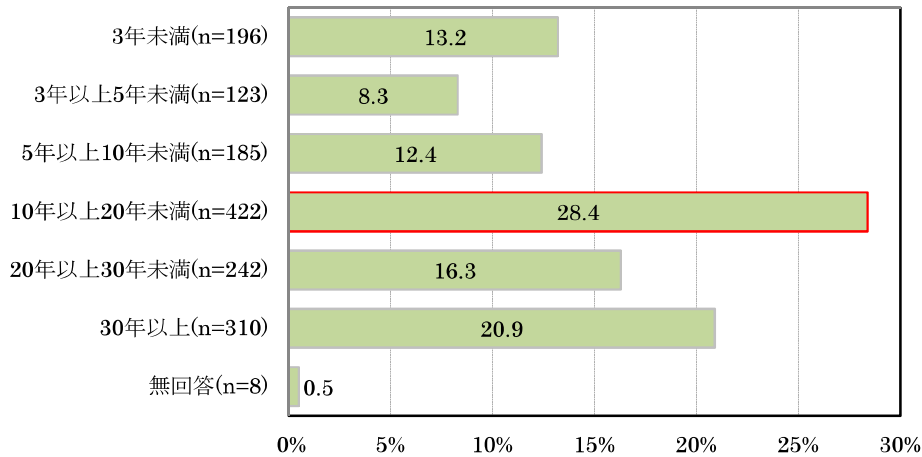
Ⅱ. 市民アンケート結果（単純集計）

1. あなたの住まいについて

■問1. 現在の住まいに住み始めてから何年が経過しますか【単一回答】

10年以上20年未満が28.4%と最も高く、次いで30年以上が20.9%となっています。

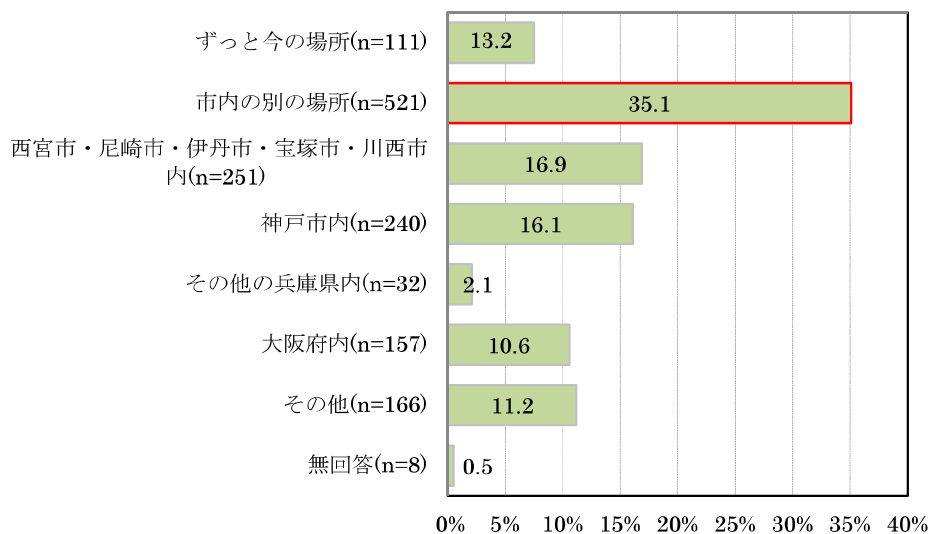
問1 現在の住まいに住み始めてから何年が経過しますか。（1つに○）
N = 1,486



■問2. 現在の住まいの前は、どちらに住んでいましたか【単一回答】

「市内の別の場所」が35.1%と最も高く、次いで「西宮市・尼崎市・伊丹市・宝塚市・川西市内」が16.9%、「神戸市内」16.1%となっています。

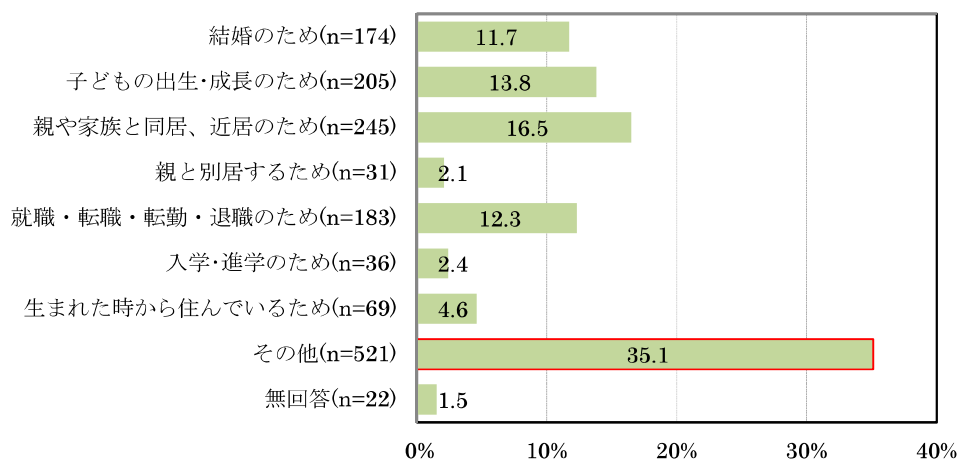
問2 現在の住まいの前は、どちらに住んでいましたか。
（1つに○） N = 1,486



■問3. 現在の住まいに住むことになったきっかけは何ですか【単一回答】

「その他」が35.1%と最も高く、その内容は「震災の影響のため」「住宅の購入のため」が大半を占めている。次いで「親や家族と同居、近居のため」が16.5%となっています。

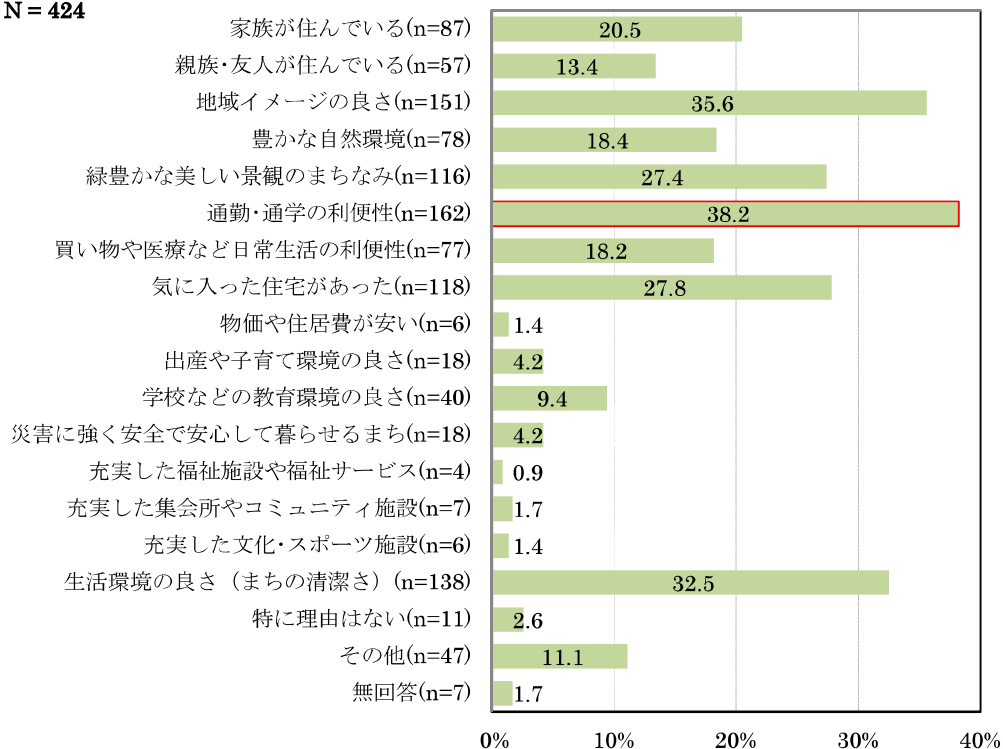
問3 現在の住まいの前は、どちらに住んでいましたか。(1つに○)
N = 1,486



■（付問）問3の1,4,5,6を選択された方の理由は何ですか【複数回答】

「通勤・通学の利便性」が38.2%と最も高く、次いで「地域イメージの良さ」が35.6%、「生活環境の良さ（まちの清潔さ）」32.5%となっています。

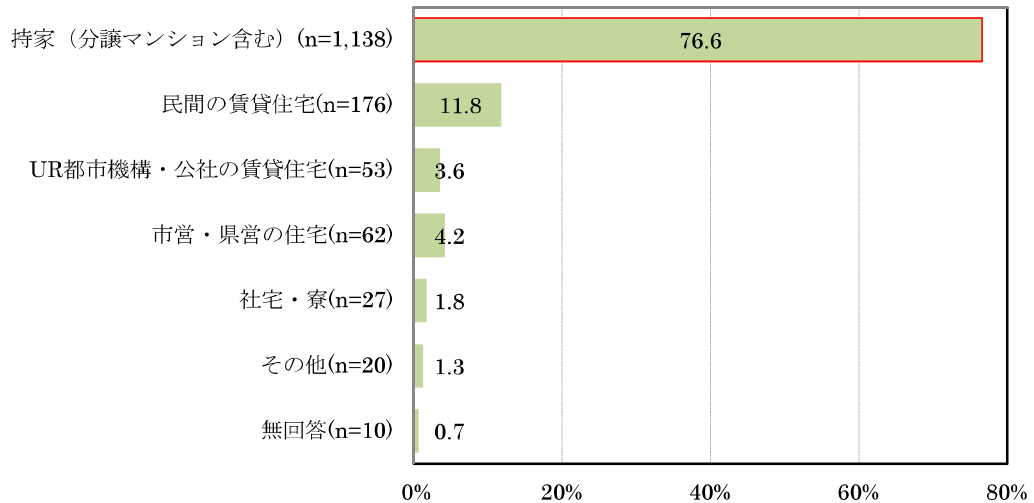
問3付問 選ばれた理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○)
N = 424



■問4. 住まいの所有関係は、どのようになっていますか【単一回答】

「持家（分譲マンション含む）」が76.6%と最も高く、全体の7割以上が「持家（分譲マンション含む）」となっている。次いで「民間の賃貸住宅」となっているが、全体からすると低い割合である。

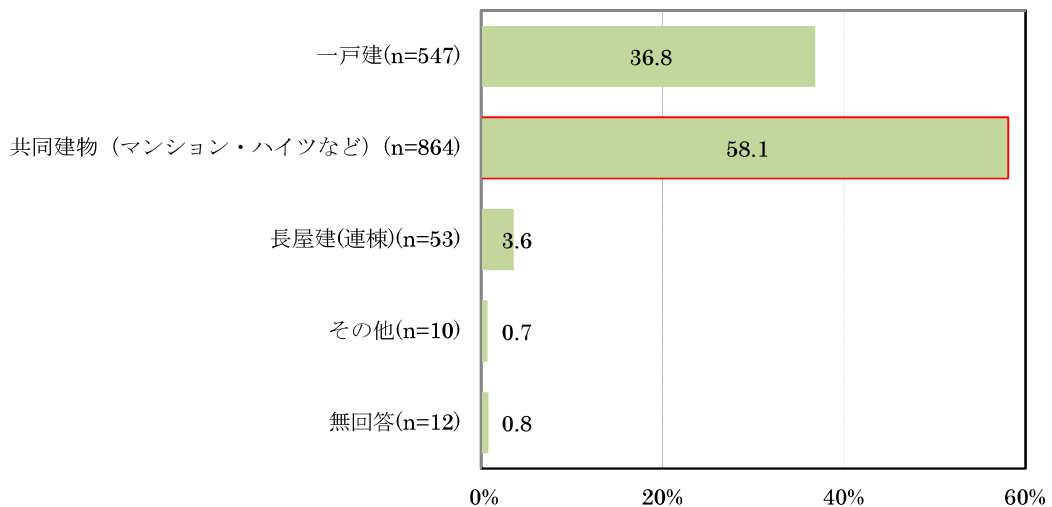
問4 住まいの所有関係は、どのようになっていますか。（1つに○）
N = 1,486



■問5. 住まいの形態は、どのようになっていますか【単一回答】

「共同建物（マンション・ハイツなど）」が58.1%と最も高く、次いで「一戸建」が36.8%、他はそれぞれ3.6%未満となっています。

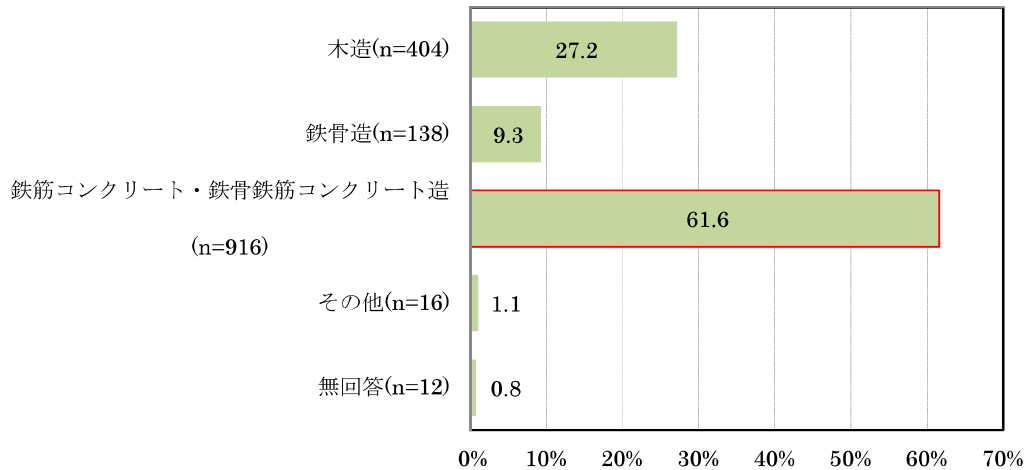
問5 住まいの形態は、どのようになっていますか。（1つに○）
N = 1,486



■問6. 住まいの構造は、どのようになっていますか【単一回答】

「鉄筋コンクリート・鉄骨鉄筋コンクリート造」が 61.6%と最も高く、次いで「木造」が 27.2%、「鉄骨造」 9.3%となっています。

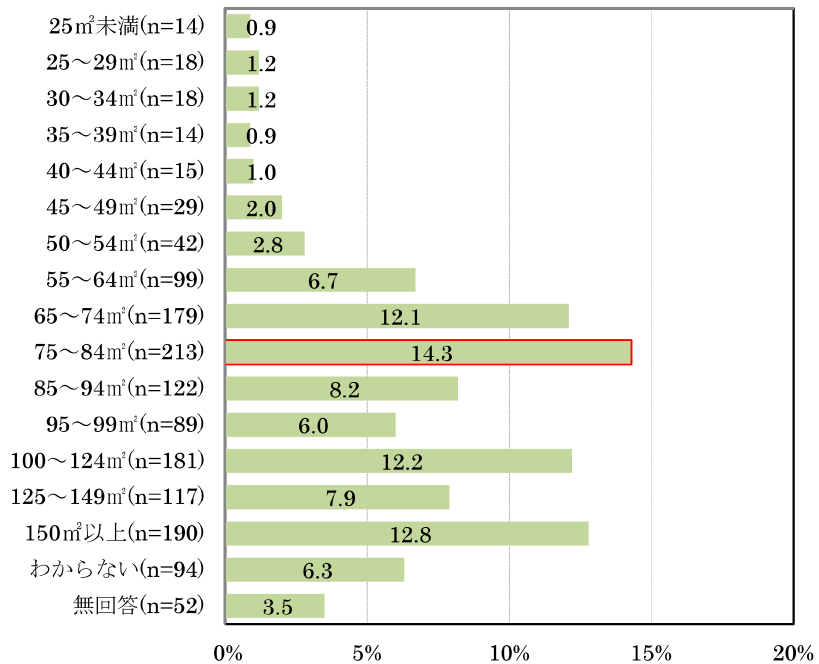
問6 住まいの構造は、どのようになっていますか。(1つに○)
N = 1,486



■問7. 住まいの広さは、どれくらいですか【単一回答】

「75~84㎡」が 14.3%と最も高く、次いで「150㎡以上」が 12.8%、「100~124㎡」 12.2%となっています。

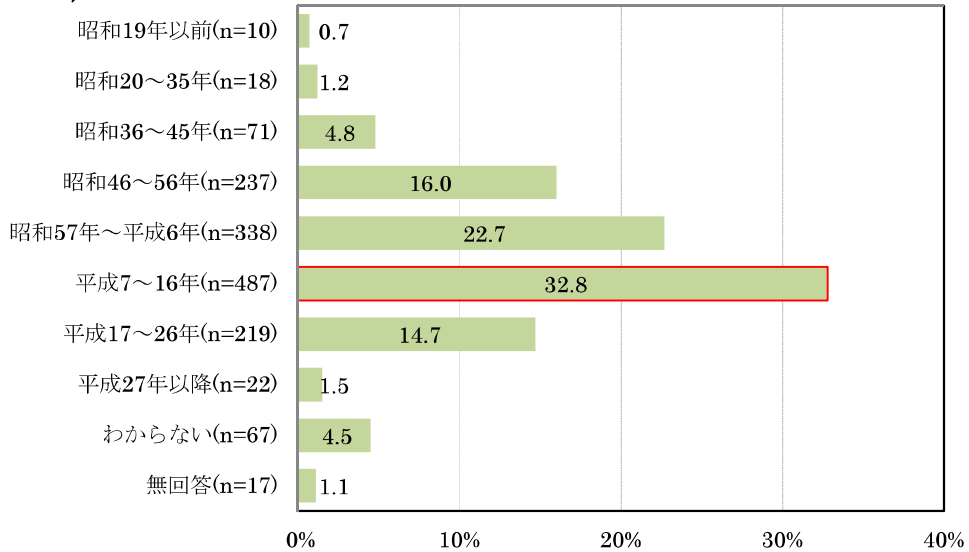
問7 住まいの広さは、どれくらいですか。(1つに○)
N = 1,486



■問8. 住まいは、いつごろ建てられたものですか【単一回答】

「平成7～16年」が32.8%と最も高く、次いで「昭和57～平成6年」が22.7%、「昭和46～56年」16%となっています。阪神大震災後（平成7年以降）建てられた住宅は全体で53.5%となっています。

問8 住まいは、いつごろ建てられたものですか。（1つに○）
N = 1,486

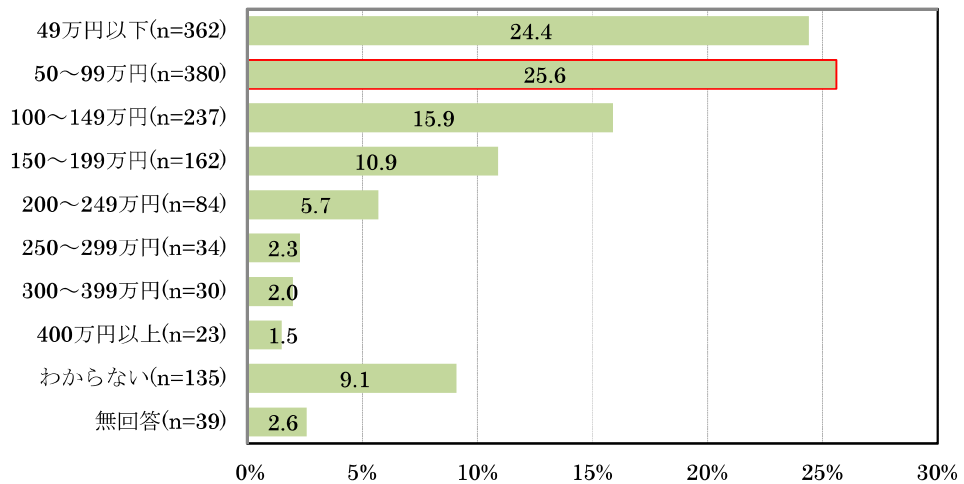


■問9. 住宅や駐車場の維持管理に必要な費用は年間どのくらいですか【単一回答】

(借家の方は家賃、持家の方は住宅ローンや固定資産税等も含めて計算してください)

「50～99万円」が25.6%と最も高く、次いで「49万円以下」が24.4%、「100～149万円」15.9%となっています。

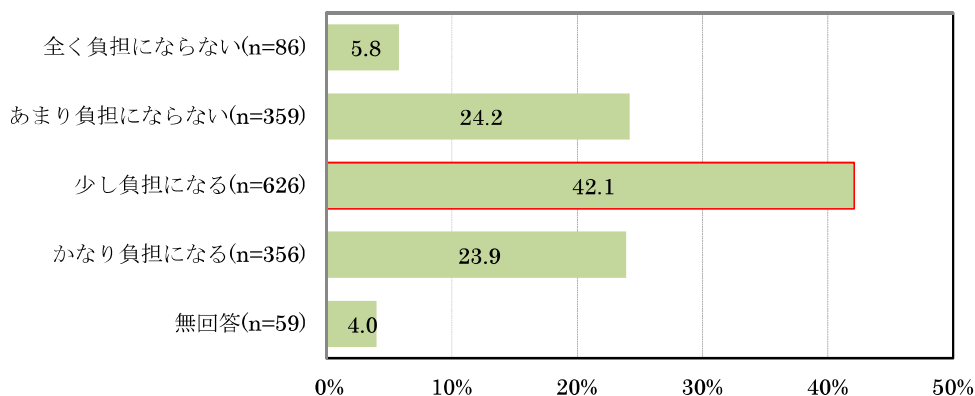
問9 住宅や駐車場の維持管理に必要な費用は年間どのくらいですか。
(1つに○) N = 1,486



■問10. 問9の費用負担についてどのように感じていますか【単一回答】

「少し負担になる」が42.1%と最も高く、次いで「あまり負担にならない」が24.2%、「かなり負担になる」23.9%となっています。

問10 上記の費用負担についてどのように感じていますか。(1つに○)
N = 1,486

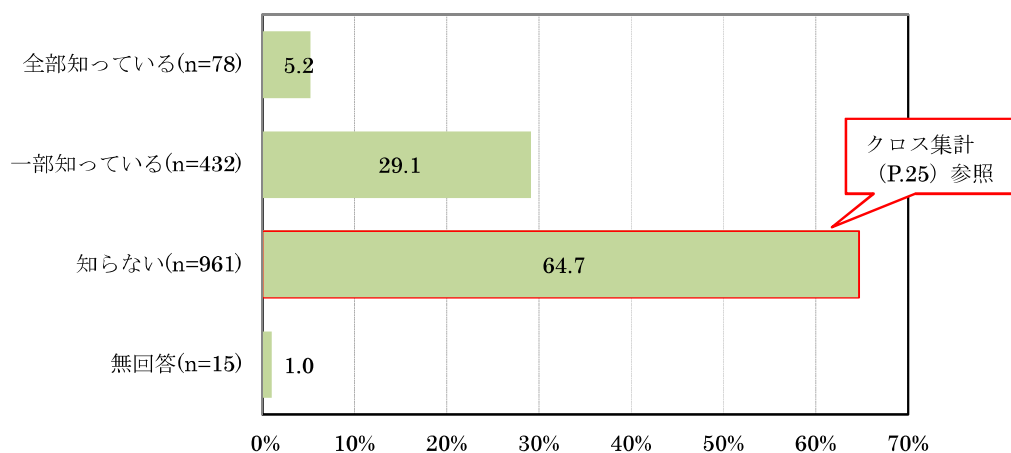


■問11. 本市では「①簡易耐震診断推進事業」という制度で、みなさんのお住まいの耐震診断を無料で行っています。また、「②住宅耐震化促進事業」という制度で計画策定費や工事費等の一部を補助しています。以下の設問についてそれぞれお答えください

■問11-A このような制度があるのをご存じですか【単一回答】

「知らない」が64.7%と最も高く、次いで「一部知っている」が29.1%となっています。

問11-A このような制度があるのをご存じですか(1つに○)
N = 1,486

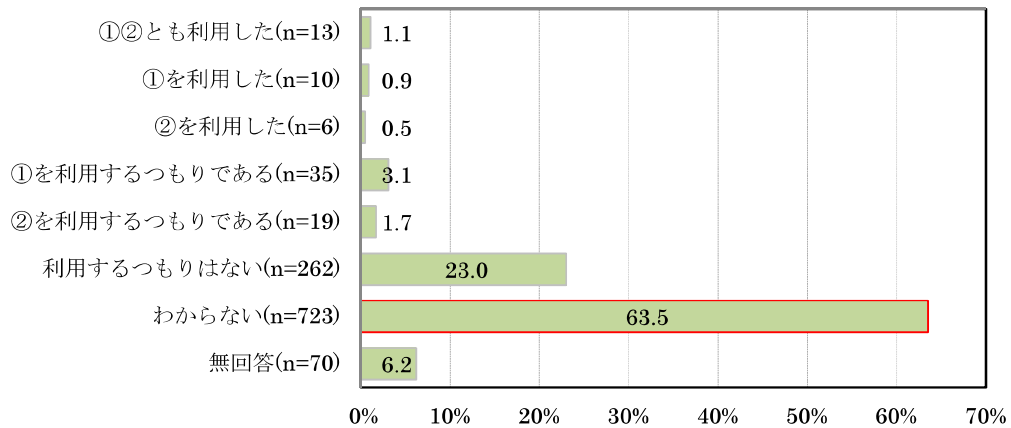


■問11-B 持家の方にお聞きします。上記の制度を利用したことがありますか

【単一回答】

問4で持家と回答した1,138件の制度の利用について最も多かったのは「わからない」が63.5%、次いで「利用するつもりはない」が23.0%となっています。

問11-B 持家の方にお聞きします。上記の制度を利用したことがありますか。
(1つに○) N=1,138



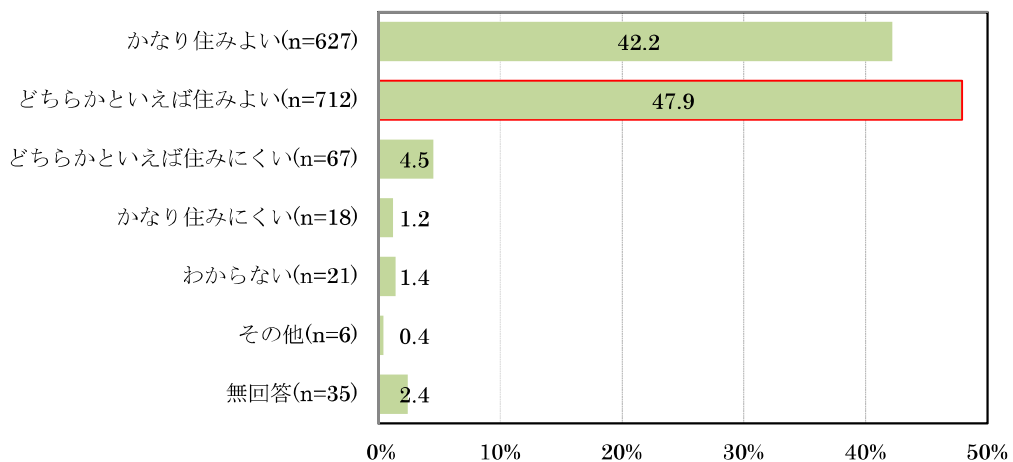
2. 住まいとまわりの環境の評価について

■問12. 現在、住んでいる地域について、あなたは住みよいところだと思いますか

【単一回答】

「どちらかといえば住みよい」が47.9%と最も高く、次いで「かなり住みよい」が42.2%あり、住みよいと答えた人の合計90.1%と高い割合になっています。

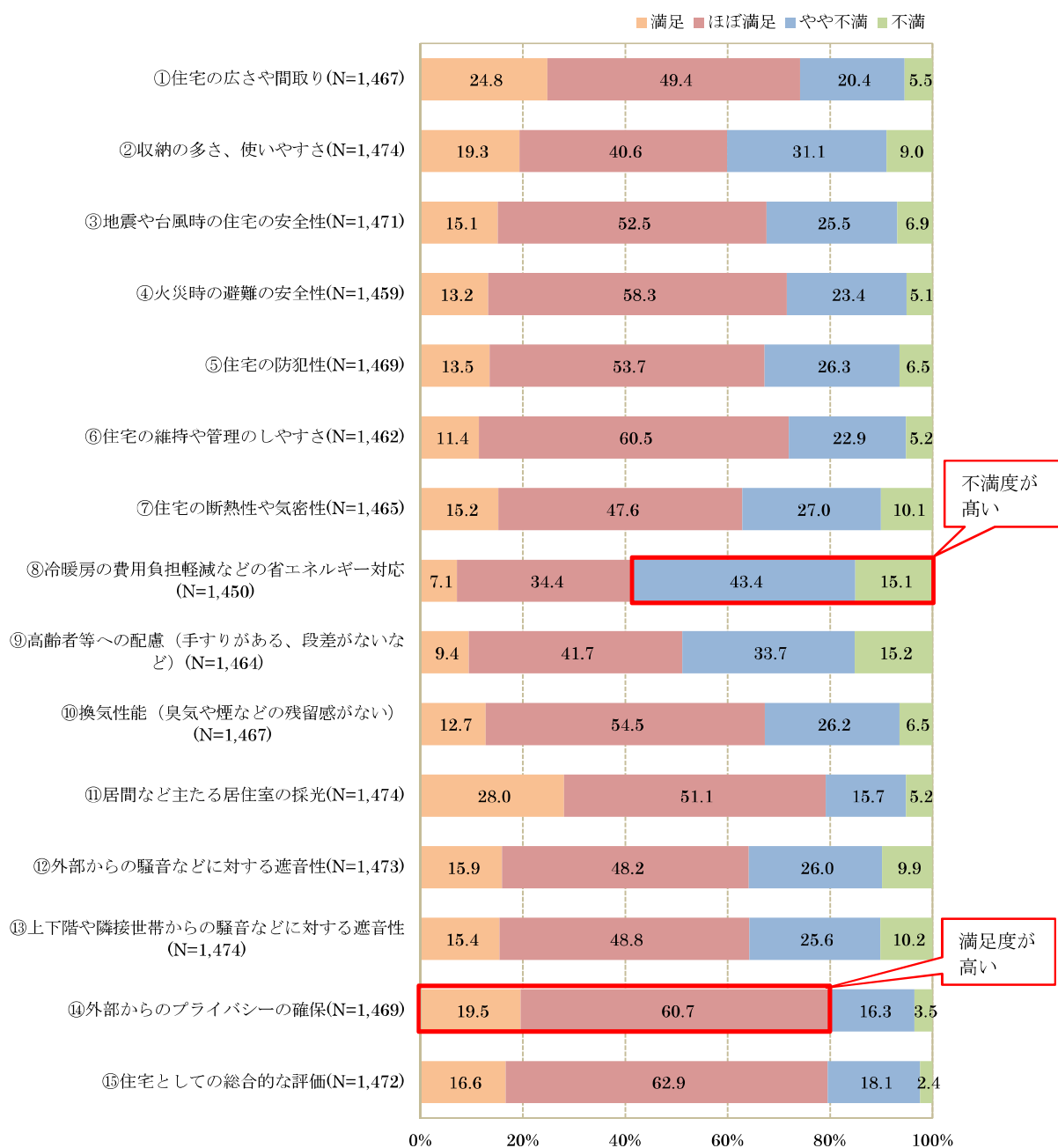
問12 現在、住んでいる地域について、あなたは住みよいところだと思いますか。
(1つに○) N=1,486



■問13. 現在の住まいについて、どのように思いますか。各項目について4段階の満足度でお答えください。【各項目単一回答】

各項目で満足度が最も高いのが「外部からのプライバシーの確保」が80.2%と最も高く、各項目で不満度が最も高いのが「冷暖房の費用負担軽減などの省エネルギー対応」が58.5%、となっています。
 ※満足度が高い=(満足+ほぼ不満) 不満度が高い=(不満+やや不満)

問13 現在の住まいについて、どのように思いますか。(無回答除く)



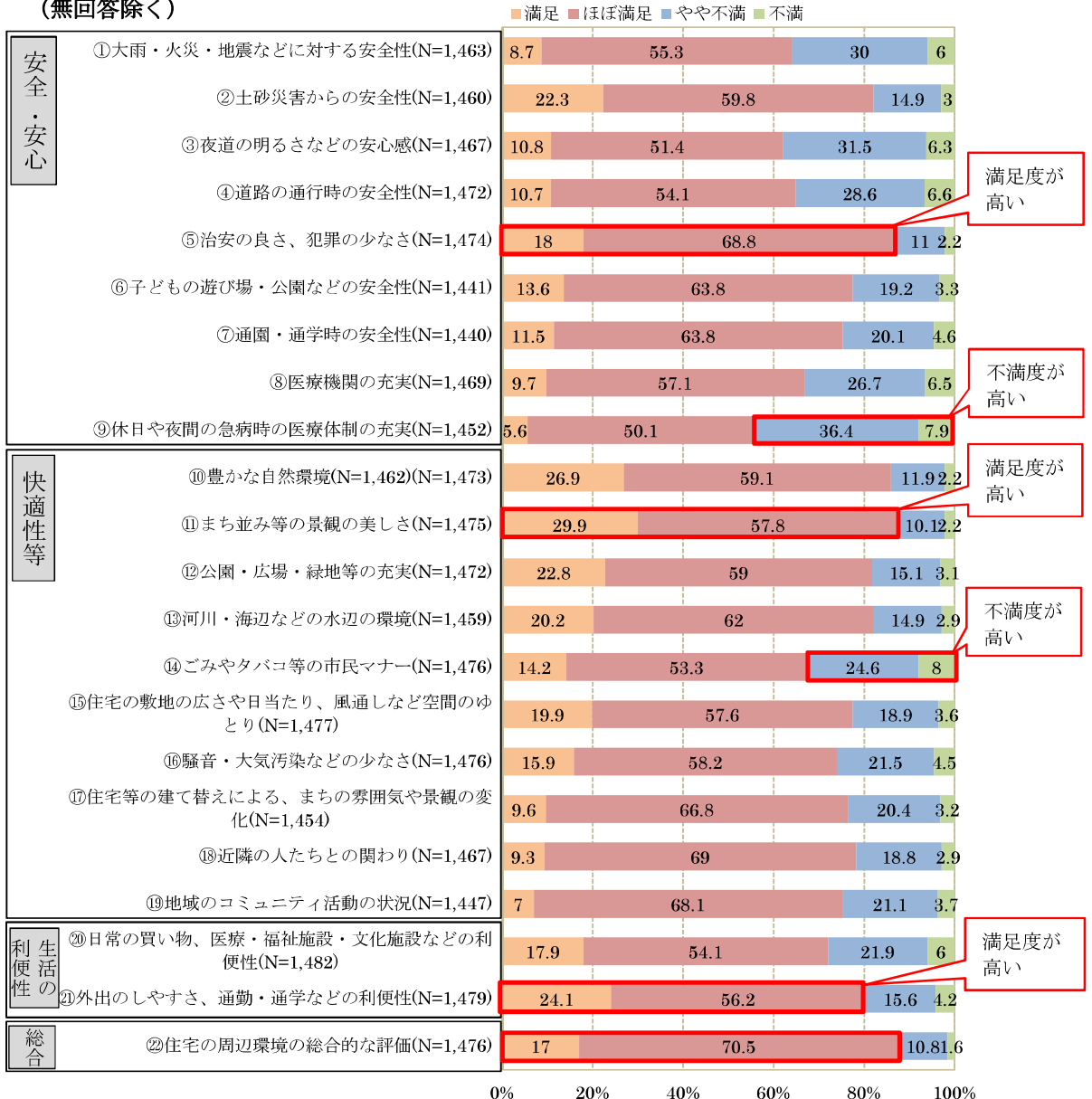
■問1 4. 現在の住まいの周辺の環境について、どのように思いますか。各項目について4段階の満足度でお答えください【各項目単一回答】

安全・安心では「治安の良さ、犯罪の少なさ」が86.8%と最も満足度が高く、その他の項目も1項目を除き60%以上となっています。また、「休日や夜間の急病時の医療体制の充実」が44.3%と最も不満度が高くなっています。

快適性等では「まち並み等の景観の美しさ」が87.7%と最も満足度が高く、その他の項目も1項目を除き70%以上となっています。また、「ごみやタバコ等の市民マナー」が30.6%と最も不満度が高くなっています。

生活の利便性では「外出のしやすさ、通勤・通学などの利便性」が80.3%と最も満足度が高くなっています。また、総合的な評価は、満足度は87.5%で高い割合となっています。

問1 4 現在の住まいの周辺の環境について、どのように思いますか。
(無回答除く)



3. 住宅マスタープランでの取り組みの満足度について

■問15. 住宅マスタープランにおいて取り組んできた住宅施策の満足度について、どのように思いますか。それぞれの項目について4段階の満足度でお答えください【各項目単一回答】

「歴史的・文化的にすぐれた建築物等の保護と活用」が81.3%と最も満足度が高く、その他の項目も2項目が60%以上となっています。60%未満の項目では、「高齢者施策等と一体となった住宅まちづくり」が46.8%が最も不満度が高くなっています。

問15 住宅マスタープランにおいて取り組んできた下記の住宅施策の満足度について、どのように思いますか。（無回答除く）

